

小野 町田市議会議員 りゅうじ



経歴 1977年8月生まれ。ひとり親家庭で育ち、新聞配達で家計を助ける。自己資金で大学に進学。横浜国立大学大学院修了。2022年町田市議選で初当選。小山町在住。ひとり親家庭で育った経験、学業と仕事の両立に苦労した経験、社会福祉士としての経験を活かし、寄り添う政治を目指します。

保有資格 社会福祉士/防災士/
1級ファイナンシャル・
プランニング技能士/
日商簿記1級



最新情報発信中!
@ono_ryuuji

伊藤 衆議院議員 しゅんすけ



経歴 1979年8月5日 町田市生まれ 町田市在住/富士幼稚園 卒園/桐蔭学園小・中・高・大 卒業/北京大学 留学/中央大学経済学部 卒業/会社経営元役員/第46回・第47回衆議院議員選挙 次点/第48回衆議院議員選挙 76,450票 初当選/第49回衆議院議員選挙 126,732票2期目当選

主な役職 党青年局事務局長/都連選対委員長/議院運営委員会/安全保障委員会理事/政治倫理審査会幹事/日中友好議連/障がい・難病政策推進議連/UR住宅議連/小田急多摩線延伸促進議連顧問/タクシー政策議連/新体操連盟副会長/長野県人会連合会顧問/拉致議連/連合政策フォーラム議員



最新情報発信中!
i-shunsuke.com
@shun76450



相原2031年、多摩境2030年に、ホームドア設置へ!

7月14日早朝に小田急線鶴川駅で人身事故が発生し、小田急線は町田～新百合ヶ丘間で、1時間以上にわたり、運転が見合わせられたことは皆さんも記憶に新しいのではないのでしょうか。

このような事故が起きる度に、ホームドア設置をしてもらいたいというお声を地域の方々から頂きます。しかし、現在、市内の駅におけるホームドアの設置は、JR町田駅の一部のホームのみに留まっています。

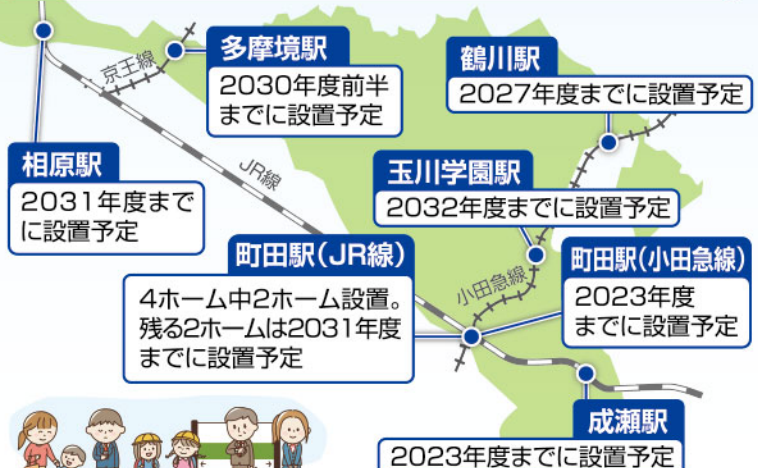
これまで、国交省は、1日当たりの平均利用者数が10万人以上の駅について、ホームドア設置を優先して促進してきました。国は、2021年に駅などのバリアフリー化を進めるため、転落防止のホームドアやエレベーターの設置などの費用を運賃に上乗せして、鉄道利用者に負担してもらう制度「鉄道駅バリアフリー料金制度」を設けました。鉄道事業者は、運賃改定を行う際、国交省に事前に届け出る必要があり、さらには、運賃上乗せ分を駅のバリアフリーにどう使われるのか、具体的な計画や進捗を国に公表することが求められています。

10万人未満の利用者数でもホームドア設置が可能となったいま、改めて、伊藤しゅんすけ衆議院議員と立憲民主

党町田市議団は、国交省、鉄道事業者に市内各駅のバリアフリー計画の公表を強く求め、駅ホームドア設置に関するスケジュールが明らかになりました。引き続き、現在のスケジュールがさらに早まるよう要請を行いながら、市民の皆さんの安心安全につながるよう、声を国に市に届けてまいります。

ホームドア設置スケジュール

7駅にホームドア設置予定 (国土交通省より回答)





国道16号(八王子バイパス下り線) 町田市相原橋付近の土砂崩れの現場を視察しました



2023年6月3日に発生した国道16号(八王子バイパス下り線)、町田市相原橋付近の土砂崩れの現場を、国交省関東地方整備局、地域の方々、小野りゅうじ市議と視察し、現状と今後の復旧について確認しました。

6月2日の日降水量は観測史上2位の174mm、6月3日は8位の99mmを記録。長時間の降雨と雨水の流れ具合等が重なり、土砂崩れの要因に。

現在、斜面をブルーシートで覆い、土留め壁を設置。残った木々が揺れて根元が緩くならないように伐採を行っております。この作業後、コンクリート吹付作業を行い、斜面の応急復旧作業が完了となります。斜面の応急復旧作業完了後、本復旧に移りますが、7月14日時点で、本復旧の内容については検討中(斜面の更なる安定のための法枠工事などを検討)であり、完全復旧の時期は未定ですが、年内を目指すとのことです。

また、相原IC埼玉方面オンランプ(入口)の通行止めについても作業スペースとして使用しているため、解除の時期は未定となっております。

ご心配な点ご不明点などございましたら、伊藤しゅんすけ事務所までご連絡ください。担当部署に確認後、折り返しご連絡させていただきます。

お問い合わせ: 伊藤しゅんすけ事務所

国会事務所 TEL 03-3508-7150

町田事務所 TEL 042-723-0117



町田市には救命救急(大学)病院が1つありません。 脳や心臓など搬送される初動30分、40分が命取りです。

① 地元政策

大学病院並みの
医療体制を!!

都議選や衆議院選挙、町田市長選や市議選でも一貫して立憲民主党として政策を訴えましたが、町田市には救命救急病院や大学病院が1つもなく高度医療ができません。近隣の八王子市には大学病院が2つ、相模原市には北里病院、川崎市には聖マリアンナ病院、多摩市にも日本医科大学があります。脳や心臓などの急患は初動の30分40分が命取りです。救急車を呼んでも受け入れ先がなく長時間動かないこともあります。コロナ禍でも他県の病院に断られることがありました。町田市民43万人の命や健康を守る医療体制の充実を引き続き求めてまいります。

2

2027年に鶴川駅北口ターミナルと南北自由通路、橋上駅の完成、南口ターミナル運用開始、2024年鶴川1号踏切拡幅完了、駅周辺渋滞解消と急行停車駅へ。

3

小田急線小山田への延伸と小山田駅の早期実現、魅力ある北部丘陵構想、1000万人が訪れる北部丘陵里山自然公園を。

4

南町田をはじめとして待機児童ゼロ。

5

相原地区における交通空白地域の解消、八王子医療センターへのバス交通の実現。相原駅前横浜線アンダーパスの実現で渋滞緩和。

6

団地問題(家賃、バリアフリー、EV設置、空室、建替、商店街活性化)。低所得者向け住宅の拡充。鶴川団地の建て替え事業。

7

教育や給食無償化。更なる少人数学級へ。妊娠、出産、不妊治療などの支援拡充。

8

児童相談所早期設置実現へ。バリアフリー、ホームドア設置等促進。

9

中心市街地活性化と地域経済雇用支援。まちづくりの中でドッグランの設置を。